

1 単元 日清・日露戦争と近代産業

2 目標

- 19世紀後半の国際関係に興味をもち、日清・日露戦争や近代産業、文化の形成について意欲的に追究している。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 日清・日露戦争、近代産業の発展、文化の形成において、歴史的な見方・考え方を活用して、歴史的な事象を関連付け、総合・再構成して、歴史的な事象の特色や時代の特色を捉えようとしている。  
(社会的な思考・判断・表現)
- 日清・日露戦争、近代産業の発展などについて略年表にまとめたり、文化の形成についての資料を読みとったりしている。  
(資料活用の技能)
- 日清・日露戦争、近代産業の発展、文化の形成において、明治後半の特色を捉え、知識として身に付けようとしている。  
(社会的な事象についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領の内容(5)ウ、エを受けて設定した。ここでは、欧米諸国の帝国主義の中、日清・日露戦争、条約改正、日本の産業革命、国民生活の変化、学問・芸術等の発展などの学習を通して、日本の国際的地位が向上したことや近代産業の発展と近代文化が形成されたことを理解させることをねらいとしている。

(2) 生徒の実態について(平成28年10月7日実施)

本学級の生徒に歴史的な事象の意味を考える力について実態調査を行った。明治政府の収入の移り変わり、江戸時代の年貢の収納高、江戸幕府の三大改革の資料を基に、地租改正の意味を考える問題では、資料を読みとることのできた生徒は22人であった。また、三つの資料を関連付けて地租改正の意味を考えて記述している生徒は9人であった。このことから、資料を読むことはできるが、読み取った情報を、関連付けて考えることができていることが分かった。

(3) 指導について

本単元「日清・日露戦争と近代産業」の中で、「視点や方法」としての歴史的な見方・考え方を活用した学習活動の工夫を通して、歴史的な事象の意味を考える力を育てていきたい。各授業では、まず、歴史的な事象と関連する資料を調べさせるために、中心となる歴史的な事象を提示する。その際のワークシートは、歴史的な事象の経過をつかみやすいように資料を配置する。また、「推移に関わる視点」、「相互のつながりに関わる視点」に気付かせ、歴史的な事象の情報を読み取らせるために、「何が書かれているか」、「何がどのように変わったか」、「なぜ、そのようになったのか」、「何のために行われたのか」などと問い掛ける。次に、歴史的な事象の特色を捉えさせるために、「似ている点や違いはないか」、「関連付けて考えると、どういうことが言えるのか」、「日本にどのような影響を与えたのか」、「どのような役割を果たしたか」、「どのような特色が見られるのか」などと問い掛ける。単元の終末では、各授業で考えた歴史的な事象の特色を総合・再構成し、時代の特色を捉えさせるために、「明治後半の日本は、どのような国を目指したのだろうか」と問い掛けたり、明治後半の人々の思いや願いを新たな情報として提示したりする。

以上のような見方・考え方を活用する学習活動を通して、歴史的な事象の意味を考える力を育てていきたい。

4 単元の指導

(1) 評価規準

社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的な事象についての知識・理解
19世紀後半の国際関係に興味をもち、資料から歴史的な事象の情報を読み取り、日清・日露戦争や近代産業、文化の形成について意欲的に追究している。	日清・日露戦争、近代産業の発展、文化の形成において、歴史的な見方・考え方を活用して、歴史的な事象の情報を関連付け、歴史的な事象の特色を捉えたり、事象の特色を総合・再構成して、時代の特色を捉えたりしようとしている。	日清・日露戦争、近代産業の発展などについて略年表にまとめたり、文化の形成についての資料を読みとったりしている。	日清・日露戦争、近代産業の発展、文化の形成において、明治後半の特色を捉え、知識として身に付けようとしている。

(2) 単元の指導計画

時	主な学習活動・内容	見方・考え方	指導上の留意点 (◎評価)
1	<p>1 これまでの学習を振り返り、19世紀後半の日本と周辺国との関係を確認する。</p> <p>2 欧米諸国の帝国主義について地図を比較して確認する。</p> <p>3 ノルマントン号事件の様子から、条約改正の過程を略年表にまとめる。</p> <p>4 単元を通しての課題を設定し、予想を立てる。 欧米列強の進めた帝国主義に対して、日本はどのような国を目指していったのだろうか。 (予想) ・列強の植民地にならないように軍力をつける。 ・欧米諸国に認められるようにする。 ・経済の発展が欠かせない。 ・欧米文化を取り入れる。</p>	<p>見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界情勢の<b>変化</b></li> <li>条約改正への<b>推移</b></li> </ul> <p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>欧米列強の<b>影響</b></li> </ul>	<p>既習内容の日清修好条規や日朝修好条規等を基に日本と周辺国との関係を想起できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>19世紀中ごろと20世紀はじめのアジア、アフリカの地図を提示し、欧米諸国の植民地支配の広がり気付き、本単元の時代背景を確認できるようにする。</li> <li>ビゴアの風刺画「ノルマントン号事件」を示し、幕末に結んだ不平等条約改正への過程を確認し、既習の歴史的事象を想起できるようにする。</li> <li>欧米の帝国主義、欧米との不平等条約改正の過程を踏まえて、課題を設定するようにし、課題に対しての予想を立てるように投げ掛ける。</li> </ul> <p>◎条約改正の過程を略年表にまとめ、欧米諸国(列強)の帝国主義に対して、日本がどのような国を目指していたのか予想を立てている。 (関心・意欲・態度)(発表・ワークシート)</p>
2	<p>1 本時の課題を設定する。 日清戦争後、日本、清、朝鮮、ロシアの関係はどのように変わったのだろうか。</p> <p>2 読み取った情報を関連図や地図に記入し、日清戦争の経過を捉える。 ・下関条約 ・三国干渉 ・賠償金の使い道など</p> <p>3 日清戦争の結果、国内外にどのような影響があったかをグループで話し合い、日清戦争の特色を捉え、ワークシートにまとめる。</p> <p>4 本時のまとめをする。 日清戦争は、清の弱体化を示し、日本の東アジアでの地位を高めた出来事である。三国干渉は、ロシアの朝鮮への影響力を増すものとなり、日本はロシアに対抗するため軍備拡張を進めることとなった。</p>	<p>見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日清戦争の<b>推移</b></li> <li>日本、清、朝鮮、ロシアとの関係の<b>変化</b></li> </ul> <p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日清戦争の国内外への<b>影響</b></li> </ul>	<p>・ビゴアの風刺画「魚つりの会」の資料を提示し、関係国や風刺画の表している歴史的事象(日清戦争)を確認し、日清戦争の様子とその後の影響を調べていくことを課題として告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日清戦争に関わる資料を配付し、日清戦争に関わる歴史的事象を関連図や地図などに表し、日清戦争の経過について確認できるようにする。</li> <li>日清戦争の経過から、日本をはじめ関係国にどのような影響があったかをグループで話し合うように指示する。</li> <li>日清戦争の結果や影響を踏まえた上で、日清戦争とはどのような戦いだったのかを問い、特色を捉えられるようにする。</li> </ul> <p>◎日清戦争が日本国内外に与えた影響を踏まえ、日清戦争の特色を捉えている。 (思考・判断・表現)(発表・ワークシート)</p>
3	<p>1 本時の課題を設定する。 日露戦争によって、日本はどのような国へと変わっていったのだろうか。</p> <p>2 資料から読み取った情報を関係図や地図に記入し、日露戦争の経過を捉える。 ・日英同盟 ・ポーツマス条約 ・日清戦争と日露戦争との戦費、戦死者、税負担の比較 ・日本を見るアジア、アフリカの声</p> <p>3 日露戦争の結果、国内外にどのような影響があったかをグループで話し合い、日露戦争の特色を捉えワークシートにまとめる。</p> <p>4 本時のまとめをする。 日露戦争によって、日本は列強の一員となるきっかけとなった。また、アジア・アフリカの国から讃えられ、国民の大国意識を生んだ出来事となった。国内では、税負担、犠牲者数の多さ、賠償金もないなど国民の負担も大きいものだった。</p>	<p>見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日露戦争の<b>推移</b></li> <li>日本、イギリス、アメリカ、ロシアとの関係の<b>変化</b></li> </ul> <p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日清戦争との<b>比較</b></li> <li>日露戦争の国内外への<b>影響</b></li> </ul>	<p>・ビゴアの風刺画「日露戦争」を提示し、関係国や風刺画の表している歴史的事象(日露戦争)を確認し、日露戦争の様子とその後の影響を調べていくことを課題として告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日露戦争に関わる資料を配付し、日露戦争に関する歴史的事象を関連図や地図などに表し、日露戦争の経過についての確認できるようにする。</li> <li>戦費や犠牲者数に着目するように声をかけ、資料から情報を読み取ることができるようにする。</li> <li>日露戦争の経過から、日本をはじめ関係国にどのような影響があったかをグループで話し合うように指示する。</li> <li>日露戦争の結果や影響を踏まえた上で、日露戦争とはどのような戦いだったかを問い、特色を捉えられるように指示をする。</li> </ul> <p>◎日露戦争が日本国内外に与えた影響を踏まえ、日露戦争の特色を捉えている。 (思考・判断・表現)(発表・ワークシート)</p>
4	<p>1 本時の課題を設定する。 日露戦争後、朝鮮半島や中国はどのように変わったのだろうか。</p> <p>2 日本による韓国の植民地化、清の滅亡から中華民国成立までの過程を調べる。 ・伊藤博文 ・孫文 ・辛亥革命など</p> <p>3 朝鮮半島の様子、孫文の考えなど資料を読み取り、自分の考えをまとめる。</p> <p>4 列強の東アジアへの影響を踏まえ、韓国併合、中華民国成立の特色をグループで話し合い、ワークシートにまとめる。</p> <p>5 本時のまとめをする。 韓国は、日本の植民地化により、不満をもった。日本にとっては、帝国主義や富国強兵の成果といえる。中国では、孫文が欧米に負けない強大な国家を作るために、日本を模範として革命を起こした。</p>	<p>見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東アジアの国名の<b>変化</b></li> <li>日本の領土の<b>変化</b></li> </ul> <p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>列強の東アジアへの<b>影響</b></li> <li>日本の産業の<b>変化</b>、<b>鉄道網の<b>変化</b></b></li> </ul>	<p>・1875年頃と1910年頃の東アジアの地図を提示し、韓国や中国の国名の変化に気付かせ、列強の国々との関係を見ていくことを課題として告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当時、使用された朝鮮半島の教科書、朝鮮での抵抗運動の資料から、朝鮮半島での日本に対する考えを想起できるようにする。</li> <li>孫文の日本に対する考えを示し、孫文が辛亥革命を進めた理由について考えられるようにする。</li> <li>列強の東アジアとの関係を踏まえ、韓国、中国、日本にとって、韓国併合、中華民国成立はどのような影響があったかを考えるように指示する。</li> </ul> <p>◎韓国併合と中華民国成立が、日本、韓国、中国に与えた影響について考えている。 (思考・判断・表現)(ワークシート)</p>
5	<p>1 本時の課題を設定する。 明治時代の産業はなぜ発展したのだろうか。</p> <p>2 鉄道や産業に関わる資料を読み取り、課題を追究する。 ・綿糸の生産と貿易 ・鉄道営業距離の変化 ・日本の軽工業・重工業の生産の変化など</p> <p>3 明治時代の産業の発展が、日本へ与えた影響を考える。</p> <p>4 本時のまとめをする。 明治時代の産業の発展は、日清・日露戦争がきっかけとなった。原料・製品の輸送のために鉄道の整備も発展を支えた。また、産業の発展や鉄道の国有化は国をまとめる役割を果たした。</p>	<p>見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の産業の<b>変化</b>、<b>鉄道網の<b>変化</b></b></li> </ul> <p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日清・日露戦争と<b>鉄道開設</b>、<b>産業発展との<b>関連</b></b></li> </ul>	<p>・貿易額と輸出入品目のグラフから、日本の産業の変化に気付くようにし、明治時代の産業について調べていくことを課題として告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道や産業の発展に関わる資料を配付し、内容の異なる資料の類似点に気付いたり、他の歴史的事象と関連付けたりできるような見方ができないか投げ掛ける。</li> <li>◎鉄道や産業に関わる複数の資料から、鉄道の国有化や工業生産の伸びなどの情報と日清・日露戦争とを関係付けて読み取っている。 (資料活用の技能)(発表・ワークシート)</li> <li>日清・日露戦争と鉄道開設との関連を踏まえ、明治期の産業の発展が果たした役割を考えるように指示する。</li> </ul> <p>◎明治時代の産業の発展が、日本に与えた影響を考えている。 (思考・判断・表現)(発表・ワークシート)</p>
6	<p>1 本時の課題を設定する。 明治時代の文化にはどのような特色があるのだろうか。</p> <p>2 絵画、音楽、文学、科学について表現技法の変化や技術の進歩に関する情報を読み取る。</p> <p>3 絵画の題材の類似点について話し合い、明治期の文化の特色を捉える。</p> <p>4 本時のまとめをする。 明治時代の文化は、欧米の影響を受け、新たな表現方法で「日本」を表現している。</p>	<p>見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現の<b>変化</b></li> </ul> <p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>欧米文化の<b>日本文化への<b>影響</b></b></li> </ul>	<p>・江戸時代の浮世絵、油絵の写真を提示し、表現方法に気付くようにし、明治時代の芸術、教育・科学などの特徴を調べていくことを課題として告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵画、音楽、文学について、資料を配付し、江戸時代後期と比較して表現技法の変化や技術の進歩に気付くことができるようにする。</li> <li>絵画の類似点に着目して、明治時代の文化の特色をグループで話し合うように指示をする。</li> <li>明治時代の日本文化の復興に携わった人物としてフェノロサや岡倉天心がいたことを伝える。</li> </ul> <p>◎欧米文化の影響を踏まえ、明治時代の文化の特色を捉えている。 (思考・判断・表現)(発表・ワークシート)</p>
7	<p>1 本時の課題を設定する。 日本はどのような国を目指したと言えるだろうか。</p> <p>2 これまでの学習を振り返り、当時の世相や人々の考えを踏まえて時代を大観し、ワークシートにまとめる。 明治後半は、日清・日露戦争の勝利により、軍力をつけ、領土を拡大し、列強の一員となった。産業の発展も成し遂げられた。しかし、それらは国民の税負担の増加、工場での過酷な労働、農村の貧しい生活等によって支えられていた。</p> <p>3 単元のまとめをする。 日本は、欧米の帝国主義の中、軍事面、経済面、文化・教育等で発展し、それによる国際的な地位の向上を目指した。国際的な地位の向上には、国民の負担も大きかった。</p>	<p>見方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明治後半への<b>変化</b></li> </ul> <p>考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時代の<b>特色</b></li> </ul>	<p>・これまでの時間で考えてきた歴史的事象の特色を総合して、明治後半の様子を大観することを課題として告げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の歴史的事象の特色を多面的に考察し、日本がどのような国を目指したといえるか単元の課題について考え、ワークシートに記入するように指示する。</li> <li>目指した国の姿を記述した後、新たな資料として、国民の思いや願いなどの資料を配付し、時代を大観できるようにする。</li> </ul> <p>◎明治後半を、当時の世相や人々の考えを踏まえ大観している。 (知識・理解)(発表・ワークシート)</p>

5 本時の指導

(1) 目標

江戸時代後半と明治期の絵画、音楽、文学等の作品を比べて、明治の文化は、欧米の影響を受け表現方法が変化したことに気付くとともに、絵画を例に、日本の伝統的な文化の中に欧米文化を取り入れていることを捉えている。  
(思考・判断・表現・ワークシート)

(2) 準備・資料

- ・ 掲示資料 富士山（浮世絵 油絵）
- ・ ワークシート①資料 絵画（浮世絵、油絵）、音楽（楽譜 ソーラン節、蝶々）、文学（南総里見八犬伝、吾輩は猫である）
- ・ ワークシート②資料 西洋絵画6枚、日本絵画6枚

(3) 展開

学習活動及び内容	指導上の留意点（◎評価）
<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>明治時代の文化にはどのような特色があるのだろうか。</p> </div> <p>2 小グループで絵画、音楽、文学について表現技法の変化を捉え、その変化が起きた起きた理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画 浮世絵 → 油絵 → 遠近法の描写など</li> <li>・ 音楽 文化譜 → 五線譜</li> <li>・ 文学 文語体 → 口語体</li> </ul> <p>・ 開国や文明開化により、欧米の文化が入り、それを取り入れたため、表現方法の変化が起きた。</p> <p>3 絵画から明治時代の文化の特色を捉える。</p> <p>(1) 日本人が描いた作品を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士山 ・ 紅葉 ・ 着物を着た女性</li> <li>・ 桜 ・ 鯛 ・ 三味線を弾く女性</li> </ul> <p>(2) 日本人が描いた作品の根拠を意見交換する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本を代表する山だから。</li> <li>・ 日本の花と言えば桜だと思うから。</li> <li>・ 絵の中に印がある。</li> </ul> <p>(3) 明治時代の文化の特色を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本のよさを伝えたい。</li> <li>・ 日本のものを大切にしたい。</li> </ul> <p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>明治時代の文化は、日本の伝統的な文化の中に、欧米文化を取り入れられているものが多い。このような文化が生まれたのは、最新の欧米文化を取り入れるだけでなく、「日本」のよさを残すとともに、後世にも伝えるためである。</p> </div>	<p>・ 江戸時代の浮世絵と明治期の絵画を提示し、相違点に気付くようにし、表現方法の変化に着目できるようにするとともに、明治時代の文化の特色を調べていくことを課題とすることを告げる。</p> <p>・ ワークシート①を配付し、江戸時代後期と明治時代の作品を比較して、表現技法の変化に気付くことができるようにする。</p> <p>・ 「なぜ、こうした変化が起きたのだろうか」と問い掛け、表現技法の変化が起きた理由に気付くことができるようにする。</p> <p>・ 開国や文明開化と表現方法の変化との関連に気付いた生徒を賞賛する。</p> <p>・ 明治時代の日本の絵画とヨーロッパの絵画（ゴッホやモネなど）合わせて12枚を示したワークシート②を配付し、日本人が描いた作品を6枚を選ぶとともに、選んだ根拠を記すように告げる。</p> <p>・ 記述の進まない生徒には、絵画に描かれている題材に着目するよう助言する。</p> <p>・ 意見交換をする中で、これらの題材で共通していることは何だろうと問い掛け、「日本」を代表するものが描かれていることに気付くようにする。</p> <p>・ 欧米の表現方法を取り入れるものの、全てを欧米のものにしていない、明治時代の文化の特色を捉えられるようにする。</p> <p>◎日本の伝統的な文化の上に、欧米文化を取り入れ、形成された明治時代の文化の特色を捉えている。 (思考・判断・表現) (発表・ワークシート)</p>